

# レアメタル研究会

- 主催：レアメタル研究会 主宰者：東京大学生産技術研究所 教授 岡部 徹
- 協力：（一財）生産技術研究奨励会（特別研究会 RC-40）
- 共催：東京大学マテリアル工学セミナー  
レアメタルの環境調和型リサイクル技術の開発研究会  
東京大学生産技術研究所 持続型エネルギー・材料統合研究センター  
東京大学生産技術研究所 非鉄金属資源循環工学寄付研究部門（JX 金属寄付ユニット）
- 協賛：（一社）軽金属学会、（一社）資源・素材学会、（一社）新金属協会、  
（公社）日本化学会、（公社）日本金属学会、（一社）日本チタン協会、  
（一社）日本鉄鋼協会（五十音順）
- 開催会場：東京大学 生産技術研究所 A n 棟 2 F コンベンションホール  
〒153-8505 目黒区駒場 4 - 6 - 1（最寄り駅：駒場東大前、東北沢、代々木上原）
- 参加登録・お問い合わせ：  
岡部研 学術支援専門職員 宮崎 智子 (tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp)

## 2019年度 レアメタル研究会のご案内(予定)

(2019.8.7現在)

- 第86回 2019年 7月19日(金) (2019年度 第1回)
- 第87回 2019年 9月13日(金) ←次回 (2019年度 第2回)
- 第88回 2019年11月15日(金) (2019年度 第3回)  
★チタン関係シンポジウム★(合同開催)  
(関連シンポジウム：寄付ユニット特別シンポジウム 11月28日(木) ←日程変更)
- 第89回 2020年 1月10日(金) 鉄門記念講堂@本郷 (2019年度 第4回)  
★貴金属シンポジウム(第6回)+新年会★(合同開催)
- 第90回 2020年 3月6日(金) (2019年度 最終回)

## 令和元年度 レアメタル研究会のご案内

(2019.8.7現在)

- 第87回 2019年 9月13日(金) 14:00~ A n 棟 2 F コンベンションホール  
テーマ：レアアース、レアメタル情勢  
午後2:00~

希土類資源の有効活用のために ~Sm系磁石開発を中心に~(仮) (60分)

大同特殊鋼株式会社 技術開発研究所 理事

入山 恭彦 講師

希土類製錬に関する環境破壊と金属のリサイクルについて(仮) (45分)

東京大学 生産技術研究所  
非鉄金属資源循環工学寄付研究部門 特任教授

岡部 徹 講師

中国に於けるレアアース事情 ~商流から裏事情まで~(仮) (60分)

株式会社サムウッド 代表取締役 副社長

川崎 豊 講師

午後6:00~

研究交流会・意見交換会 (A n 棟 2 F ホワイエ)

- 
- 第88回 2019年11月15日(金) 14:00~ An棟2F コンベンションホール  
★チタン関係シンポジウム★(合同開催)  
テーマ: チタンの過去、現在、未来、そして私の夢  
午後2:00~

東邦チタニウム株式会社の過去、現在、未来、そして私の夢(仮) (40分)

東邦チタニウム株式会社 代表取締役社長

西山 佳宏 講師

チタン事情(仮) (40分)

アドバンストマテリアルジャパン株式会社 代表取締役社長

中村 繁夫 講師

チタンに関する最近の話題(仮) (30分)

東京大学生産技術研究所 教授

岡部 徹 講師

ロシアにおけるチタン事情(仮) (40分)

(一社)ロシアNIS貿易会 研究員

渡邊 光太郎 講師

中国におけるチタン事情(仮) (40分)

(一社)日本チタン協会 コンサルタント

伊藤 喜昌 講師

大阪チタニウムテクノロジーズの過去、現在、未来、そして私の夢(仮) (40分)

株式会社 大阪チタニウムテクノロジーズ 技術部 部長  
兼 生産技術開発グループ長

山口 誠 講師

ポスター発表者によるショートプレゼン(希望者)

午後6:30~

ポスター発表 兼 研究交流会・意見交換会 (An棟2F ホワイエ)

---

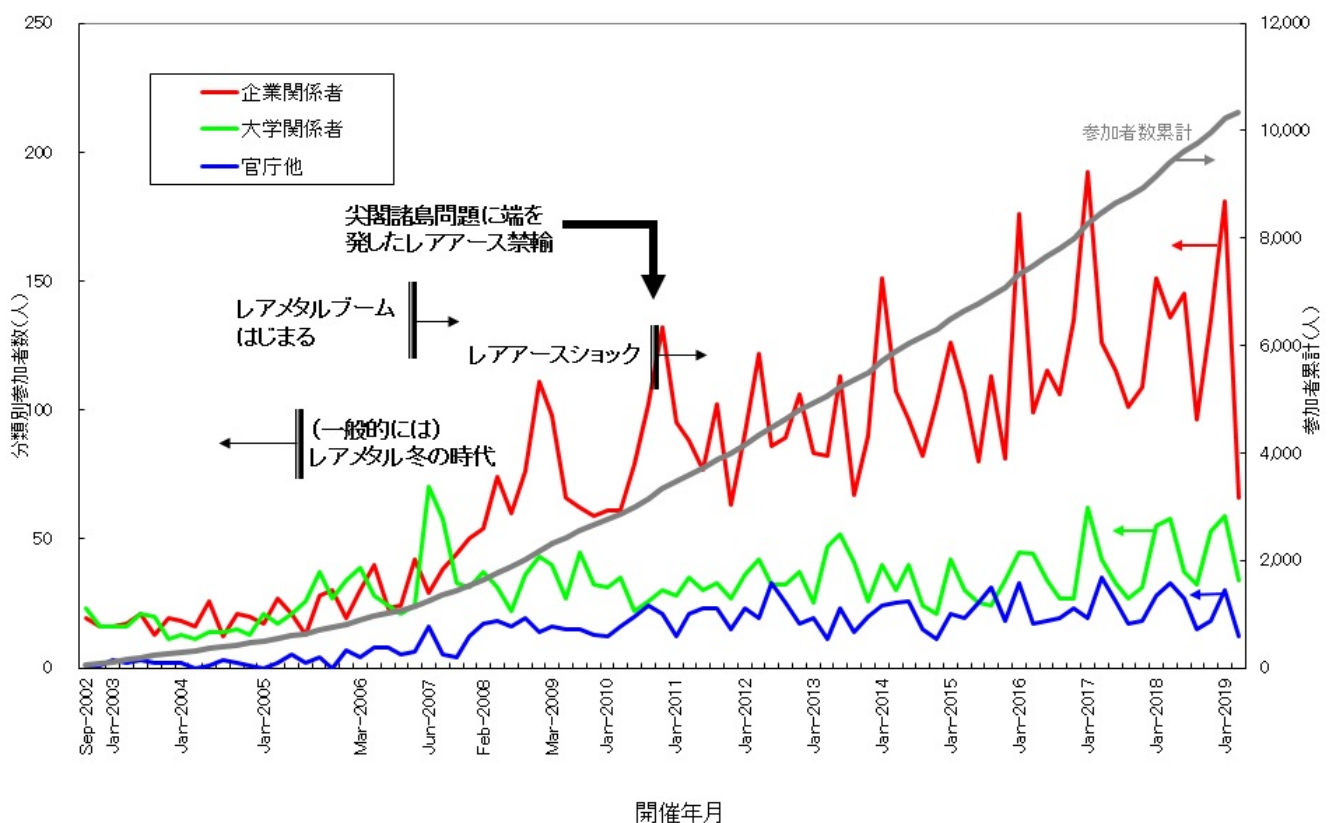
## ■ レアメタル研究会について

レアメタル研究会は、一般財団法人 生産技術研究奨励会の特別研究会（RC-40）の一つとして、2002年に発足し、これまでに合計86回開催しました。参加者の累計はおよそ10500名となり、今では、毎回100～250人の関係者が集まる極めて活発な研究会となっております。本研究会は、様々な重要な情報を社会に向けて発信し、また、レアメタルに関する産官学（+メディア）の交流の場として機能してきました。プロ集団からの情報発信源としての役割だけでなく、最近の社会的な関心の高まりをはじめとするレアメタルブームの一翼も本研究会は担っております。

本研究会は、企業会員の会費により運営されているプライベート・インフォーマルな会合であり、学会等の学術的な研究会ではありません。企業会員向けの「勉強会・交流会」が主たる目的です。従いまして、研究会の内容は、レアメタルのプロに対する技術的な内容の講演や、最近のトレンドや問題点、さらには、将来展望などの話題が多くなります。

大学・省庁・メディアの関係者の方には、ビジターあるいはオブザーバ・講師として、無料にてご参加いただいております。企業関係者は、最初の一回はビジターとして無料で参加できますが、継続的に参加する場合は、原則、入会して企業会員としてご参加ください。

申込・問合せ先： 東京大学 生産技術研究所 岡部研究室 学術支援専門職員 宮寄智子  
 FAX：03-5452-6313 E-mail：tmiya@iis.u-tokyo.ac.jp



参加者推移

---

# 米国版レアメタル研究会 (RMW) のご案内

---

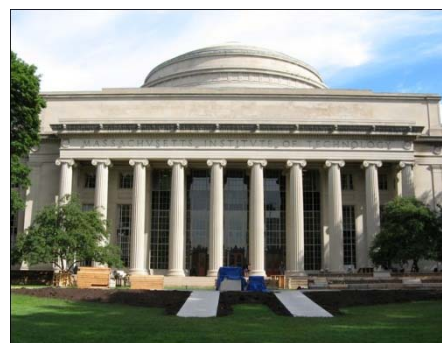
## Workshop on Reactive Metal Processing (Reactive Metal Workshop)

■ RMW1	Mar. 17 (Fri)	– 18 (Sat),	2006,	Cambridge,	MIT
■ RMW2	Nov. 16 (Thu)	– 17 (Fri),	2006,	Tokyo,	IIS, the Univ. Tokyo
■ RMW3	Mar. 2 (Fri)	– 3 (Sat),	2007,	Cambridge,	MIT
■ RMW4	Mar. 14 (Fri)	– 15 (Sat),	2008,	Cambridge,	MIT
■ RMW5	Feb. 16 (Thu)	– 17 (Fri),	2010,	Seattle,	Red Lion Hotel
■ RMW6	Mar. 4 (Fri)	– 5 (Sat),	2011,	Pasadena,	Caltech
■ RMW7	Mar. 16 (Fri)	– 17 (Sat),	2012,	Cambridge,	MIT
■ RMW8	Mar. 8 (Fri)	– 9 (Sat),	2013,	Cambridge,	MIT
■ RMW9	Feb. 21 (Fri)	– 22 (Sat),	2014,	Pasadena,	Caltech
■ RMW10	Mar. 20 (Fri)	– 21 (Sat),	2015,	Cambridge,	MIT
■ RMW11	Feb. 19 (Fri)	– 20 (Sat),	2016,	Cambridge,	MIT
■ RMW12	Mar. 03 (Fri)	– 04 (Sat),	2017,	Cambridge,	MIT
■ RMW13	Mar. 16 (Fri)	– 17 (Sat),	2018,	Cambridge,	MIT
■ RMW14	Mar. 15 (Fri)	– 16 (Sat),	2019,	Cambridge,	MIT
■ RMW15	Feb. 28 (Fri)	– 29 (Sat),	2020,	San Diego,	UC ← 次回

---

# RMW15

## The 15th Workshop on Reactive Metal Processing



The 15th Workshop on Reactive Metal Processing  
February 28 (Fri.) - 29 (Sat.), 2020 @ UC, San Diego  
(After TMS 2020, February 23 - February 27, 2020 @ San Diego, California)  
cf. Sadoway70:  
February 26 (Wed.) - 27 (Thurs.), 2020 @ TMS

---

### Organizers

**Antoine Allanore,** *Massachusetts Institute of Technology*  
**Shunsuke Yagi,** *IIS, The University of Tokyo*  
**Toru H. Okabe,** *IIS, The University of Tokyo*  
**Donald R. Sadoway,** *Massachusetts Institute of Technology*

### Program Coordinators

**Takanari Ouchi,** *IIS, The University of Tokyo*  
**Caspar Stinn,** *Massachusetts Institute of Technology*

---

URL: <https://www.okabe.iis.u-tokyo.ac.jp/core-to-core/rmw/>